

競技注意事項

1. 競技について

A. 本大会は、2022年日本陸上競技連盟規則並びに、本大会申し合わせ事項によって競技を行う。

B. 招集の手順について

- ① 選手招集は雨天練習場で行う。
- ② 点呼は最終点呼の1回のみ行う。
- ③ 最終点呼は招集開始時刻が来たら競技者係にビブナンバーとスパイクの確認を受け、競技者係の誘導に従う。最終点呼の代理人は認めない。
- ④ 招集時刻（競技開始時刻を基準とする）

トラック種目（予選・決勝とも）	開始：25分前	完了：15分前
フィールド競技	開始：40分前	完了：30分前
- ⑤ アスリートビブスは必ず男子は黒字、女子は赤字で明瞭に書き、胸、背につけること。
（跳躍種目は胸、背のいずれか一方でよい）
- ⑥ 写真判定にともなう腰ナンバーカードを男女とも黒字で書き、右腰後方につけること。

C. バーの上げ方について

走高跳（少共男） 1m70（練習） …1m75 -1m80 -1m85 - 以降3cmずつ上げる。
走高跳（少共女） 1m40（練習） …1m45 -1m50 -1m55 - 以降3cmずつ上げる。
棒高跳（成女） 任意の高さ（練習）…2m80 -2m90 -3m00- 以降10cmずつ上げる。
同記録での順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。
三段跳踏切板 成年男…13m 少年女…9m

D. 競技の抽選及び番組編成について

- ① 予選におけるレーン順はプログラム記載番号のレーンとする。
- ② 決勝の組み合わせレーン順はすべて番組編成員が公正に抽選する。予選のある種目で棄権があり、8人以内の場合は予選を行わず、決勝の時刻に決勝のみ行う。
- ③ タイムによるプラスの決定は、プラスの明示してある人数以内の同記録者数であれば次のラウンドへ進める。
プラスの人数を越える同記録者が出た場合は、写真判定によっても着差が認められない時、抽選により次のラウンドへの進出を決定する。

E. 競技用具について

- ① 競技に使用する用具は、棒高跳用ポール以外、競技場備付けのものを使用しなければならない。ただし、やりについては、1人2個以下のものに限り、当日検査の上使用を認める。このとき、すべての競技者が使用できることが条件となる。
- ② やりの検査は競技開始の1時間前より40分前までに、100mフィニッシュ側の用器具庫で行う。やりには学校名を記入しておくこと。前回の検定シールははがしておくこと。
- ③ スパイクシューズは全天候型のピンを使用し、その長さは9mm以内とする。ただし、走高跳、やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- ④ 皇子山陸上競技場の使用規定により、固定ピンスパイクシューズを除き、ニードルピンなど先端が尖ったピンの使用を禁止する。

F. 5000m は18分、5000Wは27分を越えて周回を残している場合、競技運営上ゴール地点で競技を中止させるので審判員の指示に従うこと。

2. その他

- ① 競技開催中における怪我については、応急処置の他は責任を負いません。充分注意すること。
- ② 盗難等にあわないように、各自貴重品の管理に留意すること。
- ③ 競技場の環境美化に協力すること。各自が出したゴミ等は必ず持ち帰ること。焼却場やゴミ置き場にも一切持っていかないこと。使用した場所は責任を持って清掃すること。